

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	間伐促進強化対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	南信濃自治	課等名	南信濃自治振興センター		包含する細々目	1	6	2	2	31	2		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	必要	関連計画 条例等		森林法、森林・林業基本法、伊那谷地域森林計画					
		事業期間	13	年度～	19	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	民有林	(株)ウッド&アース出荷した間伐材(?)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			2856			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	搬出間伐を増やす	(株)ウッド&アースへ出荷した間伐材で旧南信濃村間伐奨励事業の対象となった木材の量(V = 2,856m ³) (県・林業公社・緑資源機構等が行うものを除く)	18目標	3000	最終目標	
			18実績	784	19目標	2856
			23目標	2856	23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	間伐事業を促進するための事業量の拡大と、現状では搬出コストがかかるため敬遠されていた搬出間伐を積極的に推進するため、森林組合等森林整備事業者が行う搬出間伐経費の補助制度を拡充する。	旧南信濃村間伐奨励事業補助金(V = 784m ³)	スギの間伐材で未口14センチ以上の直材	784
		旧南信濃村間伐奨励事業補助金(V = 2,856m ³)	スギの間伐材で未口14センチ以上の直材	2856

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他		
	一般財源	786	3,000
	事業費計(A)	786	3,000
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA + B	786	3,000

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	林業生産額(億円)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	経済的自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
民有林が適正に管理され、自然環境の保全並びに森林の持つ公益的機能の増進が図られる。将来の木材生産につながる森林の公益的機能の高度発揮を図る目的で既に実施していた。間伐の促進と森林資源の有効活用を促進し、林産業の活性化を図る。	木材価格の低迷のため、木材生産目的の森林整備に対する森林所有者の意欲が薄れてきた。しかしながら、森林の持つ公益的機能の高度発揮という目的が改めて見直されて来ているが森林所有者や木材産業関係者には経済的に成り立たず間伐等森林整備が進まない。特に搬出間伐が進まないため木材利用が進まず、後継者や担い手不足や採算性が悪循環に陥っている。	市民、議会から森林の保全管理は重要であり、また地域材を有効に利用することが必要

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 森林組合など森林整備実施団体の組織強化と森林所有者に森林整備の重要性をPRすることにより推進される。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	森林所有者の理解が必要のため、さらに間伐推進の啓発を図る。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	